

文高理低？

今回は河合塾の大学入試情報分析報告会の報告です。この説明会は第3回全統模試（10月末実施）の結果と入試動向をもとにして入試を予測するという報告会です。要点としては以下のとおりですが、中でも「文高理低」という動向分析が特に気になりました。

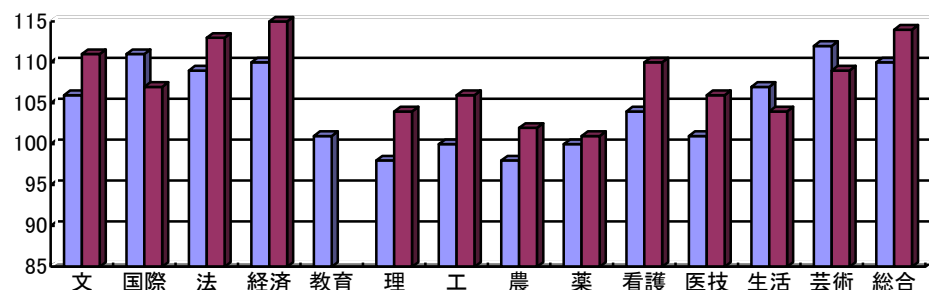
入試受験環境まとめ

- ①大学志願者数に大きな変化なし
- ②英語外部試験利用の拡大（出願資格の利用に注意、私大利用入試志望者は少ない）
- ③国立大で学部・学科の新設・再編ラッシュ（募集人員・選抜方法の変化に注意）
- ④私立大で都市部大規模校で定員超過率抑制の動き（←前号の「さか草」で紹介済み）

受験生の志望動向まとめ

- ①文高理低へのシフト（社会科学系の人気復活、理・農・薬の人気低下）
- ②国公立大で科目数増大の敬遠（負担軽減大人気）と新設・改組大の人気ばらつきあり
- ③私立大で安全志向と出願促進施策拡大で一人当たりの志望校記入校数拡大

下の図を見てください。この図は当日の配付資料の第3回全統マーク模試から見た受験生志望動向の前年比を学部別にまとめたものです。系統の左が国公立大、右が私立大です。これを見れば、文系学部の人気が高くなっているのに対して理系学部の人気が低迷していることがよく分かります。また上記した以外に、国公立大で国際系学部が、私立大で看護学部が、両者ともに芸術・スポーツ、総合・環境・情報系学部の人気が高くなっていることも分かります。この背景には、景気の回復で文系学部の就職が好転してきたことやグローバル化・情報化・高齢化等の進展が考えられます。一方、これを難易度に結び付けて「文難理易」とするのは早計ですが、何等かの影響があることは否定できないと思います。理系の難化が長い間続いていただけに大きな変化といえるでしょう。（文責：今井雅）



『1年の窓』

『冬休みは1年生の総復習を！』

高校での学力は着実についていますか？定期考査や進研模試での成績は満足できるものでしょうか？この冬休みは今までの心構えや学習方法を見直す機会としましょう。

- ・将来の職業、志望大学を公言する
- ・教科書を見直し、基礎基本を確実に身に付ける
- ・問題集を繰り返し取り組む
- ・苦手科目をそのままにしない
- ・毎日の学習時間を確実に確保する
- ・勉強の質を高める（集中して取り組む）
- ・受験を甘く見ない
- ・成績が悪いのを周りのせいにならない

1年生の授業は2月末までです。12月までに1年生の学習がほぼ終わります。この冬休みは4月からの総復習に力を注いでください。3年生になってから後悔しても遅いです！（文責：西崎）

『2年の窓』

10月に実施された進研記述模試が返却されました。模試結果はどうだったでしょうか？見直し・復習をして次につなげるようにしましょう。採点された解答用紙はきちんと確認しましたか？自分では正しい答えを書いたつもりだったのに漢字が間違っていたので点数が入らなかった、答えは正しいのに途中式が間違っていたので減点されてしまった等、自分が気付いていなかったようなミスを発見することができるため、解答用紙の確認は必ずおこなひましょう。

私の母校は3期制をとっており、年明けに3学期が始まりました。2年生の3学期は、3年生0学期、3年生に向けて他よりも早くスタートができる大切な時期です。まずは冬休み、模試結果を活用して自分の弱点を補強し、得意分野は確実にのばしましょう。（文責：堀内）

『3年の窓』 センター試験まで残り1ヶ月！！自分を信じて！！

センター試験までちょうど残り1か月です。教室の日めくりカレンダーで、つい最近まで「残り100日」なんて言っていた気がするのにあっという間でした。夏以降の君たちを見てみると、目の色を変え必死に取り組む姿があちらこちらに。休み時間に問題の出し合いや自習室での取り組みなどいたるところで見受けられました。そんな君たちだからこそ、自分の力と今までやり抜いてきたことを信じて、当日まで取り組み続けよう！！大丈夫。君たちなら、きっと大丈夫だから。

さて、当日までのこの期間、もちろん勉強も大事ですが、「自分の体調管理」もとても大事なことのひとつです。体調を崩して、当日に全力で臨めないと元も子もないですからね。体調管理をするためにも、夜型（夜に必死に勉強をする人のこと）の人はもうそろそろやめましょう。冬休みだからこそ、夜に勉強するのではなく、朝6時から7時に起床して、朝から頭をフル回転できるようにしてください。試験は午前中から始まりますからね。午前に頭がボーッとなんてしていたら、いやですよ。

また、不安とプレッシャーに向き合っている時期でもあると思います。これはどの受験生も一緒です！！私も（多治見高校の先生方もきっと）君たちぐらいの時はそうでした。みんな余裕があるように見えるかもしれませんが、内心ではみんなドキドキなはずですよ。自分だけと思いきまないことです。ただ、みんなそうだからといって不安はぬぐえないと思います。だからこそ、不安を口に出してみましよう。心の中で考え込むより、口に出して発散した方がすっきりするはずですよ！！支えてくれる家族、経験豊富な先生方、信頼できる友達などに聞いてもらい、最後まで諦めず一緒に取り組もう！！（文責：波勢）

○文系の窓○

文系のこれから

みなさんはどれくらい将来を見据えていますか？将来を考え、行動することはなかなか難しいことです。しかし、ある程度、今の動きを知り、将来を予測することはとても大事なことです。3年生は、センター試験まで40日を切りました。2年生は、あと1年と40日ぐらいしかありません。1年生はまだまだ2年もある！と思っているかもしれませんが、あっという間に2年生になり、「受験生にならねば。」と言われてたりします。

さて、題名にもありますが、今回は「文系のこれから」と将来について絡めて紹介します。今年の6月、文部科学省が国立大学の文系学部（教員養成系や社会学系）に対して、改組（組織を改めること）をするように案を出しました。特に変化大きいのは、教育学部の〇〇コースや〇〇課程といった分野で、卒業要件に教員免許の資格がない学部やコースはほとんどなくなっています。（所謂、ゼロ免課程のことです。）

例：信州大学教育学部 生涯スポーツ課程／教育カウンセリング課程

静岡大学教育学部 生涯教育課程／総合科学教育課程／芸術文化課程

以上の課程はH28より募集停止です。

また、愛知教育大学でもH29より改組予定と言われるように他の大学で継続して改組予定だそうです。また、教育学部に限らずこの他の学部（理系も含み）でも、H28より改組が行われている国立大学は25あります。例えば、静岡大学は地域に根差した地域創造学環を新設しています。今の動きを把握して将来のよりよい進路決定を！（文責：波勢）

○理系の窓○

進路を考える時間を！

前号までに、文理選択や学部学科の紹介、適性について取り上げてきました。1年生は三者懇談会で文理選択の決定をし、冬休みに入っていきます。将来のことについて「少し一段落」と考えている人もいます。また、2年生も「進路は3年生に進級してから」と考えている人もいます。ですが、少し考えると、先伸ばし出来ないことに気がきます。まず、2年生は、オープンキャンパス（以後OC）は3年生に進級してからでは模試や補習で忙しく、なかなか行くことが出来ません。そして、1年生は来年の夏にOCに必ず参加することになります。しかし、体験型などの人数制限があるOCは6月上旬あたりから申込みがスタートします（国公立大学を中心に申込制になっているので注意）。このように、大学選びという視点で見ると、自分の進路について早く動かなくてはいけないことが分かってきます。「さて、進路について考えましょう！」という話をすると、「興味があるものがない」という言葉が時々返ってきます。でも、本当は「どんな分野があるか知らない」ことが原因なのです。だからこそ、この休みに理系や進路の本を読んでみましょう。先日、図書館に行く機会がありました。今年の図書館は一味違います！理系の興味深い本や進路の本がよりしっかり揃えられています。また、ほとんどの人が大学でどんな研究をしているかあまり知らないと思います。そこで、「ニュートン」という本を見てみましょう。興味湧く分野がそこにはあると思います。進路探求のスタートは、まずは「知ること」から。この冬休みを活用しましょう。（文責：竹腰）

☑総合学習の扉☑ 進路検証できていますか？

2年生の今、ゼミ学習に取り組む理由（目標）を覚えていますか？ゼミ学習のメインテーマは、進路検証です。なんとなく気になっている学問があるが、本当に自分の興味・関心と一致しているのか分からない。学びたいことが多くあって選べない。その迷いを解消するために、まずは研究活動に実際に取り組んでみよう、というのが最初のオリエンテーションでの確認事項でした。

そしていよいよ、各ゼミにおいて最終発表が始まりました。調査内容や考察についてはもちろんですが、研究テーマを設定し、調査し、資料をまとめ、発表する。その一連の流れの中で、自分の進路に関する意識の変化についても振り返ってみましょう。やはり、関心のあった分野についての調査は面白いと思えましたか？関連する分野の本を読み進めるうちに興味の対象が違う方向に変わった人もいます。興味の対象は変わって当然です。ゼミ学習を通して、もう一度、大学の4年間で学びたい学問について検証してみてください。

また、人前で堂々と発表する技術と度胸も成長させて下さい。前回のさか草で伝えた発表のポイントを再記載します。せっかく準備した発表内容を確実に分かりやすくゼミのメンバーに伝えましょう。

ヒント① 説明する順序を工夫

1. 相手が知らないことは丁寧に説明する。
2. 重要度の高いテーマや結論から先に述べる。
3. 全体の流れを話してから、詳細を説明する。

ヒント② 発表用の声を意識

1. 普段より大きな声で話す
2. 声の高さを意識して変えてみる。
3. 大切なところでは、ゆっくり話す。

（文責：谷）

○Book Review○

スタートアップ「心理学」高校生と専門的に学ぶ前のあなたへ

著者：小川一美・齋藤和志・坂田陽子・吉崎一人（2013）ナカニシヤ出版

私は毎日JRを利用して学校まで通勤をしています。片道25分、往復50分。この隙間時間にスマホをいじって過ごすだけでは勿体無い！と思い、今年は鞆に薄くて読みやすい本を1冊必ず入れておき、それを読むということを心掛けています。今回は最近電車で読んだ本について紹介しようと思います。

皆さんは「心理学」と聞くと、どのようなものを想像するのでしょうか？心理学に興味を持つ人は多いと思いますが、具体的にどのような学問領域があるのか、どのような事を学ぶのか、どんな職業に就職できるのか…等には疑問が多いのがこの分野ではないかと思っています。そんな心理学に対する疑問について実例や図解を加えながらわかりやすく解説したものがこの本です。心理学を大学で学びたいと思っている人、貴方が興味を持っているのは知覚心理学・認知心理学・発達心理学・臨床心理学・社会心理学・教育心理学の中でも、どれに当てはまるものなのでしょうか？（ちなみに私は大学で社会心理学の大衆心理について学んでいました）。難しい内容が書かれているわけではないので、心理学の入口とするのにおすすめの1冊です。

（文責：堀内）

